

## バーコードリーダーに必要なもの

### ◎iVCam

スマホとPCの両方にインストール

同期の仕方

Wifi有 ⇒ スマホとPCを同じWifiに接続する

Wifi無 ⇒ 有線で



## バーコードリーダーの使い方

1, 以下のファイルをダブルクリック



2, ウィンドウのボタン番号通りに



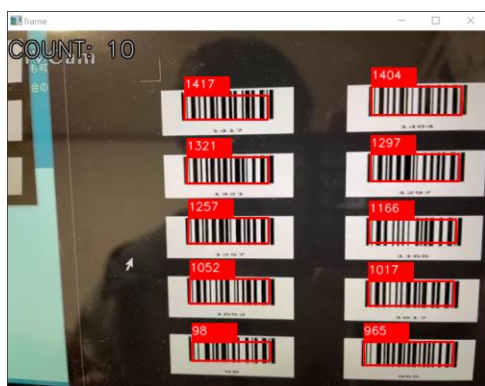
②カメラ番号 1 iPhoneはどれだ

端末によってスマホと接続する番号が変わります。

カメラ起動ボタンを押した際に以下のウィンドウが出てきたらスマホのiVCamを立ち上げてください



スマホと同期したらバーコードにカメラをかざしてください

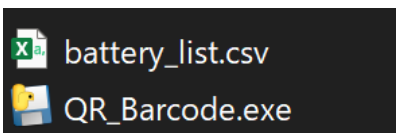


左上の数と読み取るべき数があったらEscキーで終了してください。

一通り行くと以下のようになります。



以下のような「〇〇list.csv」ファイルができます。読み込んだ情報が入っています。



- ・ battery\_list : 読み取った電池の履歴
- ・ SD\_list:読み取ったSDの履歴
- ・ camera\_list:読み取ったカメラの履歴

③新しくできたExcelファイルを元のExcelファイルに上書きする

## 履歴について

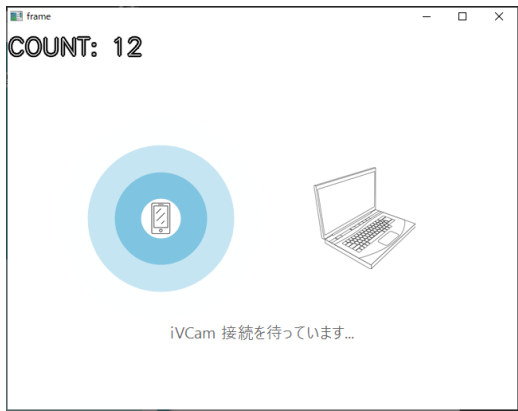
履歴のファイルがある場合にはそれらを読み込んでカメラが立ち上がります。これは「保存」の作業がうまく行われなかった時のために作ったものです。場合によってはExcelファイルの更新がウイルスバスターによってブロックされてしまいます。そのせいでもう一度電池などを読み込むのは大変です。そのようなことが起こらないようにするために作りました。

例) 12本分の電池の履歴がある場合

battery\_list.csv

	A	B
1	841	
2	98	
3	1166	
4	1052	
5	965	
6	1417	
7	1257	
8	1321	
9	1404	
10	804	
11	1017	
12	1297	

カメラを起動させると左上に過去に読み取ったバーコード（battery\_list.csv）の総数が表示されます。



もし履歴が不要な場合はそのcsvファイルを消してからカメラを立ち上げてください。

battery\_list.csvを消した場合

